

特集
消防広域化
第二弾

市町がつながり、消防救急力を強化する

広域化でさらなる 安全・安心へ



富士山南東消防組合は、平成28年4月1日から運用される、三島市、裾野市および長泉町からなる広域消防組合です。今回は、消防の広域化により期待できる効果として、消防救急力の強化について説明します。

問合せ 消防総務課 (☎972-5801)

火災などの災害や救急時の体制強化

消防の広域化に伴う消防車や救急車の運用できる台数の増加により、火災などの災害や救急時の初動対応、応援体制が強化されます。

特に市町の境においては、従来の管轄区域を越えて最も近くの消防署などからの出動が可能となります。現場までの到着時間が短縮されるので、1分1秒でも早く火災などの災害現場や救急車を必要とする皆さんのもとに駆けつけることができます。消火活動では、延焼を防ぎ、救急活動における救命率の向上が見込まれます。なお、三島市南部については、広域化当初は従来と変わりませんが、今後、富士山南東消防組合で救急車の配置をするなど体制強化を図っていきます。



▲市町境での火災発生時における出動イメージ

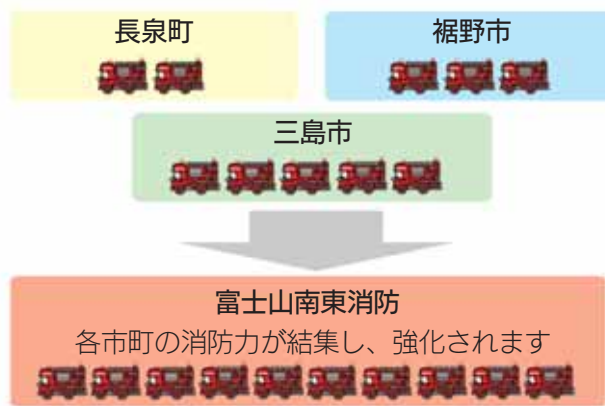
消防団との密接な連携

皆さんの身近な存在である各市町の消防団は、地域に密着した多様な活動を行うため、広域化の対象外となっていますが、各市町と富士山南東消防本部・消防団は、引き続き密接に連携を図っていきます。

※次回広報みしま3月1日号では、富士山南東消防組合の窓口業務や連絡先などについて案内を掲載する予定です。

資機材の導入・更新の円滑化

消防組織の拡大により、財政規模も拡大します。高性能な機材（はしご車など）の導入や、資機材の更新を計画的に行うことが可能となります。



※  は消防力のイメージ

パブリック・コメントの結果概要

平成27年10月～11月にかけて実施した「三島市、裾野市及び長泉町広域消防運営計画（案）」のパブリック・コメントの結果概要は、次のとおりです。

●意見提出者

区分	人数
市内に住所を有する人	11人
市内に存する事務所、または事業所に勤務する人	2人

●反映結果別集計

区分	意見数
政策等に反映したもの（一部反映を含む）	15件
既に反映済のもの	1件
反映できないもの	14件
そのほか（質問など）	19件

消防組合の名称や北上地区の消防力などのほかたくさんの意見が寄せられました。詳細は、市ホームページ（パブリック・コメントページ）、または消防本部をご覧ください。